



# 図書館だより

中央2丁目4番1号  
☎(よいほんいろいろ) 482-1616

## ☆古雑誌をお譲りします

保存期間が過ぎた雑誌を提供します。  
図書館では、定期購読している雑誌の保存期間を3年間としています。3年を経過したものは処分となりますので、今回は2012(平成24)年6月号までの雑誌が対象です。先着順とし、なくなり次第終了とします。

※お一人3冊までを目安にお譲りください。  
※取り置きのご希望には、お応えできませんので、ご了承ください。

▼提供期間/7月4日(土)から対象の雑誌がなくなるまで。  
▼場所/図書館展示コーナー

## ☆お願い

返却された本の間に、しおり代わりに使用したと思われる付箋はがきや写真、振込用紙など、いろいろな物が挟まれたままになっていることがあります。返却の際は、取り忘れがないよう、「ご確認」ください。

▼今月の休館日/6日(月)・13日(月)・20日(月)・海の日・27日(月)

## 新刊案内

### おすすめの新刊

**ひらめき! 食べもの加工**  
岡本 靖史/著

身近な素材の性質を知ったり、発酵や糖化に出会ったり、加工食品作りのなるほどの連続。「ヨモギ以外の草で草餅を作ったらどうなる?」なんていう、実験要素を加えた楽しい加工食品作りを紹介。アルミ缶アイス、何でもジャム、松葉サイダーなど、家族で実験しながら楽しめます!

夏場 瞬一/著  
「10歳になってわかったこと」  
篠田 桃紅/著  
「ライフレビュー」  
パトリス・ジュリアン/著  
「歴史好きのための古文書入門」  
高尾 善希/著  
「困難な選択(上・下)」  
ヒラリー・ロダム・クリントン/著  
「北海道の蝶と蛾」  
堀繁久・櫻井正俊/著  
「麻ひもで編むかごとバッグ」  
青木恵理子/著  
「キヨミさんの庭づくりの小さなアイデア」  
長澤 淨美/著  
「ロード・キャンピングカーは北へ」  
山口 理/作  
「つきよのくろてん」  
手嶋圭三郎/絵文

たくさんのお待ちはお待ちしています!

## 新年度の事業を承認

# てしかがえこまち推進協議会総会

団体や組織との連携を強化し  
多様化する観光ニーズに対応

てしかがえこまち推進協議会(会長・徳永町長)の定期総会が5月26日、役場で開催されました。

総会には、会員など約40人が出席。平成26年度事業報告・決算報告と平成27年度事業計画案の提案が行われました。初めに、北海道釧路総合振興局の安田俊明副局長が「徳永町長を先頭に多彩な活動を行っている。単なる観光振興にとどまらず、自然環境を保護しながら観光



まちづくりアドバイザーの山田さんが講演

変化への対応を踏まえ、多様化する観光客のニーズに添えていく方針。構成団体やさまざまな組織との連携を強化し、地域づくり団体としての確かな事業を推進するため「情報発信教育事業」「地域の宝探し事業」「バリアフリー観光拠点整備事業」などを行うことが提案されました。

## 誰のためどんなマチを目指す 弟子屈町民という意識で行動

本町のまちづくりアドバイザーを務める観光カリスマの山田桂一郎さんは、同協議会の取り組みについて、地方創生や市場調査、他の地域の事例紹介などを交えた中で次のように話し、エールを送



会員を前に徳永会長があいさつ

りまし  
た。一弟  
子屈町の  
の全て  
の動き  
が最新・  
最先端  
という  
わけだ  
はない。  
しかし、  
協議会  
の活動  
が他の  
地域に  
認めら  
れるだ  
けでなく、  
手本として  
見習いたい  
と思われ  
るようにな  
ってきてい  
て、うれし  
い。弟子屈  
町の良いと  
ころは、行  
政の仕組み  
・民間の仕  
組みという  
ことだけで  
はなく、「弟  
子屈町民」と  
いう意識と  
立場で参加  
して、官と  
民の両方を  
動かしてい  
る仕組みと  
組織という  
ところ。他  
の地域から  
非常に評価  
されている  
。自分たち  
のまちをど  
うしていく  
のか、どん  
な町を目指  
すのか、一  
町民として  
考えざるを  
得ない。自  
分たちは何  
のため、将  
来の世代を  
含めて誰の  
ために行動  
をするのか  
ということ  
をあらため  
てとらえ、  
今までの活  
動に努力を  
つかりと振  
り返って、  
27年度の活  
動に努めて  
いきたい」  
提案された  
各議案は、  
審議の結果  
、全について  
全会一致で  
承認されま  
した。

## 温泉街部会が温泉川清掃

てしかがえこまち推進協議会・温泉街部会の皆さんが6月5日、温泉川清掃を行いました。川湯温泉のシンボルともいえる温泉川をきれいにしたいと、毎年行っています。清掃には約10人が参加。あいにくの小雨の中での作業となりましたが、お宿欣喜湯から川湯第一ホテル忍冬までを清掃し、180kgのごみを回収しました。



手分けして温泉川を清掃

## EMC通信

～川湯の森から～

摩周湖と屈斜路湖。町内にある2つの湖は、ともにカルデラです。カルデラとは、火山活動によって生じたくぼみのこと。「鍋」を意味しています。鍋の縁は外輪山と呼ばれ、底にたまった水(湖)をグルリと取り囲んでいます。この鍋のような形こそ

が、水だけではなく、雲もたむるのです。湖は霧摩周有名

### 上から目線で雲海を見ませんか

ですが、現象として雲と霧は同じものです。地面に接したものが霧で、浮かんでいるのが雲です。広がる雲が海のように見える雲海は、見る人の方が高い位置にいる状態です。摩周湖第3展望台からは、摩周カルデラと屈斜路カルデラに漂う雲海を同時に目にする可能性があります。藻琴峠や小清水峠、津別峠、美幌峠など、見下ろすことができる場所が多くある屈斜路湖上では、スケールの大きい雲海が期待できます。環境条件がそろわなければ見られませんが、ちょっと早起きしてでも見る価値があります。たかが霧、されどこの霧、どこからやってくるか、存じですか? EMC館内にある解説展示をご覧の上、現地に立つと、よりご理解いただけると思います。

## アイヌの自然 視 オオウバユリ

ハル イッケウ(食糧の・背骨)

ギョウジャンニクと並んで、食糧の中心的存在だったのが「トゥレップ」オオウバユリの鱗茎(厚い鱗片(葉のようなもの)が集まって多肉化した根)です。6月中旬から7月にかけて、女性たちが採取する役割を担っていました。デンプンを抽出し、乾燥させて保存食に加工できるオオウバユリの鱗茎は、とても重宝したのです。行動は常に複数人で行われ、ヒグマ対策とともに、年下の代へ伝える貴重な時間であったといえます。

【参考文献】  
北の歳時記/計良光範 著

問い合わせ先  
てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係) ☎ 482-2940 (課直通)